

授業科目(ナンバリング)	レクリエーション活動研究(CC305)			担当教員	中山 忠彦		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
レクリエーションは単なる余暇活動ではなく、一人ひとりの生活の質を向上させ、生活の様々な場面で人々を結びつけ、豊かな社会を構築するために不可欠なものである。本講義では、現代社会におけるレクリエーションの意義と役割について理解を深め、レクリエーション活動を企画・実践するために必要な知識・技術を習得する。							②④⑤⑥⑪
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法		評価比率
専門力	・レクリエーションの現代的意義を理解した上で、レクリエーション活動支援の理論および方法を習得することができる。				・課題レポート		20%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	・他者との良好な関係を構築するために必要なホスピタリティの示し方とアイスブレイキングの技法を実践することができる。				・実技（レクリエーション活動）		30%
協働・課題解決力	・グループディスカッションにおいて、自分の意見を主張し、他人の意見を聞き入れ、最終的に一つの意見にまとめる能力を身につけることができる。 ・グループワークによりレクリエーション活動を計画し、実践することができる				・グループディスカッション ・実技（グループレクリエーション活動の計画と実践）		20% 30%
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
グループディスカッションにおいて自分の意見を主張し、他人の意見を聞き入れ、最終的に一つの意見にまとめる能力が身についているかを評価する（20%）。実技（60%）では、レクリエーション活動を行う際に実施したホスピタリティの示し方と実施したアイスブレイキングの技法（30%）、グループレクリエーション活動の計画（10%）、実施した内容（20%）を評価する。課題レポートは、学生生活の一つ取り上げ、その活動で求められるレクリエーションの意義と役割を論じることにより、授業内容を把握できているかを評価する（20%）。課題レポートについては、提出した翌週の授業において、その内容に関する解説を行う。							
授 業 の 概 要							
学生にテーマ毎に授業資料を配布する。その資料に沿ってパワーポイントを用いて授業を行う。授業内容の理解度を促進するため、ペアワークやグループワークによりレクリエーション活動を実践する場合がある。さらに、5 コマはレクリエーション活動（実技）の企画と運営を行う。 この授業の標準的な1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：使用しない。講義内容について適宜資料を配布する。							
参考書：『楽しさをおとした心の元気づくり～レクリエーション支援の理論と方法～』公益財団法人日本レクリエーション協会，2020							
指定図書：『基本のアイスブレイキング・ゲーム』公益財団法人日本レクリエーション協会，2019							
授業外における学修及び学生に期待すること							
積極的に授業に参加し、主体的に学んでください。特にグループワークでは、積極的に自分の意見や考えを述べ、ディスカッションにより考えを膨らませてほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習・復 習
1	オリエンテーション	・ 授業の内容・展開方法、試験の方法、評価の方法等に関する説明	予習：シラバスに目を通しておく 復習：到達目標を確認する。
2	レクリエーション概論	・ 良好なコミュニケーションに必要なレクリエーションについて考える（講義）	復習：各グループで議論したレクリエーションに対する考え方をまとめる。
3	ホスピタリティの意義と重要性	・ コミュニケーションを成立させるホスピタリティの示し方について学ぶ（講義）	復習：自らの生活においてホスピタリティを必要とする場面を挙げる。
4	1 対 1 でのホスピタリティの示し方	・ 1 対 1 での会話を促進するためのホスピタリティの示し方について学ぶ（グループワーク）	予習：対象者との良好な関係を築くための手法について調べる。 復習：会話を促進させるためのホスピタリティの示し方についてまとめる。
5	集団におけるホスピタリティの示し方	・ 集団の良好な雰囲気を作るためのホスピタリティの示し方について学ぶ（グループワーク）	予習：集団との良好な関係を築くための手法について調べる。 復習：集団の雰囲気を向上させるホスピタリティの示し方についてまとめる。
6	アイスブレーキングによるコミュニケーションの促進	・ 良好な関係を築くためのアイスブレーキングの役割について学ぶ（グループワーク）	復習：ホスピタリティとアイスブレーキングの違いについてまとめる。
7	アイスブレーキングの技法	・ 効果的なアイスブレーキングの技法について学び、展開案を考える（グループワーク）	予習：アイスブレーキングの具体的な手法について調べる。 復習：授業で実施したアイスブレーキングの技法についてまとめる。
8	アイスブレーキングの実践	・ 計画したアイスブレーキングをグループ内で実践し、評価する（実技）	予習：アイスブレーキングの指導を計画する。 復習：実施した内容を振り返るとともに、他のグループを評価する。
9	CSS プロセスを用いたコミュニケーションの技法（理論）	・ コミュニケーションの手法のひとつである、CSS について学習する（グループワーク）	復習：CSS プロセスを用いた効果的なコミュニケーションの方法についてまとめる。
10	CSS プロセスを用いたコミュニケーションの技法（実践）	・ コミュニケーションの手法のひとつである、CSS について学習する（実技）	復習：活動の効果を促進する CSS の活用方法についてまとめる。
11	レクリエーション事業の考え方	・ 様々な場におけるレクリエーション事業の効果的な活用方法について学習する（講義）	復習：レクリエーション事業のプロセスについて把握する。
12	レクリエーション事業の展開方法	・ レクリエーション事業の展開方法とプログラムの組み方について理解を深める（グループワーク）	復習：レクリエーション事業を企画し展開方法を把握しておく。
13	レクリエーション事業の企画と運営	・ レクリエーション事業の企画方法について学習する（グループワーク） ・ レクリエーション事業推進の鍵となるグループ運営方法について学習する	復習：グループレクリエーション活動のプランニング（計画）を完成させる。
14	グループレクリエーション活動	・ レクリエーション活動実施（実技） ・ レクリエーション事業展開における事故の事例を紹介しながら安全管理について学習する	予習：各グループで計画したグループレクリエーション活動の確認を行う。
15	レクリエーション活動の実践（実技）	・ レクリエーション活動の評価（実技）	予習：実施したレクリエーション活動の評価を行い計画を改善する。